

2012年里親さん募集

【募集内容】

里親募集 10名

【ご支援先】

ゴール市・サンガミッタ女子校

【ご支援期間】

11年生～13年生在学中（2014年1月～2017年8月）

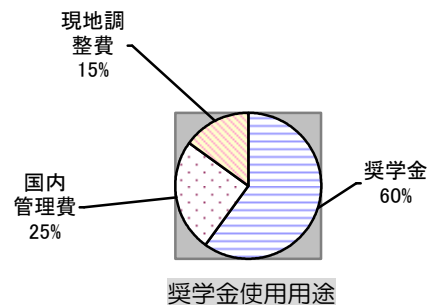
＊途中、8ヶ月間の休みが入るため、卒業までに3年8ヶ月かかります。

【里親会費】

48,000円

【ご入金方法】

- A. 毎月1,000円×48ヶ月（現金・郵便局毎月自動払込）
- B. 3回分割 16,000円×3回（現金・郵便局自動払込・振込）
- C. 一括 48,000円×1回（現金・振込）



スリランカと日本を、
心の架け橋でつなぎます

2014年スリランカ シショダヤ奨学金のご案内

里親の皆さんには..

ネットワークテラ（会報）、
さとおや通信で、子どもの
様子をお届けいたします！

子どもとの文通で心の
交流を図ります！！

スリランカツアーや招聘事
業で子どもとの出会いの場
を作ります！

さとおや交流会を実施し、里親
さん同士の交流、留学生との交
流を図ります！！



特定非営利活動法人 地球市民の会
TERRA PEOPLE ASSOCIATION

〒840-0822 佐賀市高木町3-10

TEL 0952-24-3334 FAX 0952-26-4922

E-mail okubo@terrapeople.or.jp URL <http://terrapeople.or.jp>



シショダヤとは、シンハラ語で
『目覚め』という意味です。

地球市民の会とは

地球市民の会は、1983年佐賀市において、故・古賀武夫氏の発意により誕生した、地球市民運動を実践する市民団体です。『他人の幸せを自分の幸せ』と感じる人があふれる世界を願って、タイ・スリランカ・ミャンマー、佐賀で活動を行っています。

スリランカの高校生来日!!
素敵な交流の輪が広がりました★

(2012年8月交流事業)



スリランカ事業の歴史

佐賀大学の大学院に留学していたニシャンタ・ナナヤッカラナ氏と前古賀会長との出会いで、スリランカと地球市民の会のつながりができました。ニシャンタ氏は、当会の『貧しくて学校へ行けない子どもを支える』タイでの活動を知り、『海を越えた思いやりの心』に強く感銘を受けたそうです。



帰国後、ニシャンタ氏は、スリランカでも世界に目が向けることができる人材を育てていきたいと『シショダや奨学金基金』を設立。電力会社を経営しながら、スリランカの子ども達の育成に取り組んで参りました。当会は、1997年より『シショダや奨学金基金』への支援を開始しました。

シショダや奨学金の目的

『スリランカと日本に心の架け橋をかけたい』

シショダや奨学金は、将来、スリランカの国を背負うことになる優秀な子ども達へ支給しています。日本の里親さんからの経済的な支援、心の支援を通して、スリランカ社会へ巣立つ時、日本とスリランカを友好な関係でつないでいてくれることを願っています。

ゴール市はどんなところ?

サンガミッタ女子校が位置するゴール市は、スリランカの最南端にあり、旧市街は1988年に世界遺産にも登録されています。植民地時代、古くからの港町として栄えていましたが、現在では昔の面影を残すだけの町となりました。周辺には、電気もない僻地の貧しい農村地域が多くあり、農民はひたむきに紅茶と米作りに励んでいます。

奨学金の役割

奨学金は、教育にかかる費用に充てられます。学費、文房具、専門書などの購入費や学校へ通学するためのバス代などです。

スリランカの初等教育就学率は100%に近付きつつありますが、高校・大学への進学は狭き門となっています。大学進学を叶えるには、勉学に専念できるだけの経済的環境や親の教育に対する理解などが必要となります。

経済的に厳しい家庭では、子ども達が未だ労働力とみなされることもあり、高等教育への進学は厳しさがあります。奨学金の存在は、子どもの学ぶ環境づくりに大変役に立っています。



2011年スリランカ里親ツアー
里子と里親の対面☆

奨学生の‘今’

本年まで、100名を超える学生達が、奨学金の支援を受けながら卒業しました。そして、大学進学を叶え『みんなの幸せのために』と医師・教師・政府役人として、スリランカの地で活躍しています。また、日本の里親さんとの交流を通して、海を越えた思いやりの心を育むことにつながっています。

第1期奨学生Nishadさん。

高校卒業後、アメリカのスタンフォード大学へ留学。2010年、南極大陸の調査チームに選ばれた。

『ここまで頑張ったのは、
日本の方の支援があったからです』

第2期奨学生Shashikaさん。

(一番左、右は旦那さん)
現在、医者として働いている。
治療に関わった貧困家庭の子どもに、文具や食料を持って行き、サポートしている。



2009年夏。元奨学生が母校に集まり

『シショダや奨学生の会』を結成。

『後輩達のために協力すること』『日本とより
友好な関係を作ること』を会の目標とした。
2012年、学校や卒業生、日本の力が集まり、
奨学生の日本への招へい事業が実現した。

